

ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャの思い受け継ぎ世界へ 世界青年のつどい成功めざす全国交流ニュース

[2006年6月15日 No.6]

発行: 第2回世界青年のつどい準備委員会 電話03 5842 6035 FAX03 5842 6033
URL http://www.geocities.jp/youth_against_nukes/index_jp.html Eメール youth_against_nukes@yahoo.co.jp

「すみやか」署名集めながら反核マラソン 岩手

大阪でピースツアー実行委員会が結成されました。

800kmを800人でリレー



岩手『憲法9条を守れ! 戦争のない平和な未来を!』を求める「第21回反核平和マラソン」(岩手自治労連青年部主催)が6日早朝、釜石市役所前をスタートしました。

この取り組みは、釜石市役所を出発して、北と南に分かれて県内を一周し、4日後の盛岡市役所前到着に向けて、約800kmをのべ800人の参加者でタスキを繋げて走ります。

出発式には、釜石市職労・大船渡市職・大槌町職から20人以上のランナーが集まり、それぞれの代表者からあいさつ。新沼青年部長からは、盛岡到着までの4日間の決意とともに「21世紀を核兵器の無い世界にするため、強い決意を形にしていきましょう!」と激励され、号砲とともに出発していきました。

4日目(最終日)は、雨の中のスタートとなりましたが、ゴールの盛岡市役所までみんなの思いをつなぐべく走り続けました。急遽レインコートを着て走った人も居たようですが、結局

は皆ずぶ濡れになっていました。

今年は、千羽鶴や色紙に加え『すみやかな核兵器の廃絶のために』署名を集めながらの取り組みとなり、合併を行った自治体には非核平和宣言の継続を求めました。

原水爆禁止世界大会に代表者を派遣し、みんなの思いが詰まった千羽鶴と色紙を届けたいと頑張っています。



新 入 生 も 参 加

大阪6月11日に大阪ピースツアー実行委員会が行われ、11学園から11人、新入生が1人参加しました。まず、学習として実行委員会へのよびかけと昨年の実行委員会のアピールを読んで交流。その後1人ずつツアーへの思いを語り、「企画者として参加者の成長が実感出来る時が嬉しい」ピースツアーが人生においてターニングポイントになる」などの意見が出されました。新入生からは「むかし原爆資料館に行ったけど、怖くてトラウマになっている、受け止められるか不安」などが語られました。

次回は15日に会議を開き、ピースツアーの前に行うプレ企画の内容を決めていく予定です。

ポスターは1枚20円、フライヤーは1枚3円です。ご注文は電話・FAX・メールで